

育ててくれた町に恩返し

樹木を寄贈、木山中学校に植樹

大阪府に在住で旧木山小第7回、木山中第6回卒業生の鷺尾勇二さんから、町に樹木の寄贈があり、木山中学校のサブグラウンドに植樹されました。

寄贈された樹木はクスノキ、タイザンボク、モクセイ、サクラの計9本。木山中学校と益城中央小学校の間にあるサブグラウンド南側に植えてあります。

これを受けて5月27日、役場応接室に同級生5人と一緒に来庁した鷺尾さんご夫婦に対して町は、感謝状と益城産のお茶を贈りました。鷺尾さんは「益城町は私たちを育ててくれた町。これからの人生、恩返しをできるところには恩返しを



鷺尾さんから寄贈され植樹された樹木



益城で過ごした思い出を語る鷺尾さんご夫婦(写真右)と同級生のみなさん

したい」と思って樹木を寄贈することに至った」と益城で過ごした思い出を噛みしめるように語りました。

住永町長は「隣接する道路は中学生や小学生が通る道。大先輩が贈った樹木が今の子どもたちを見守っているということはずごく幸せなこと。ご厚意に感謝します」と鷺尾さんや同席した同級生のみなさんに感謝しました。

牛乳で毎日を元気に

父の日キャンペーンで牛乳を贈呈



専用の保冷ケース入りの牛乳

た牛乳を手渡しました。町長は「牛乳なくして町民の食生活は成り立たない。町の子どもたちの成長も、この牛乳が毎日給食に出ているお陰。ぜひともこの活動を通して、もつと酪農を頑張ってもらえれば」と激励しました。

全国酪農青年女性会議による「父の日に牛乳を贈ろう」キャンペーンで町内酪農家の村上美香さん(小池秋永)、高森真智代さん(小池秋永)、松野敦子さん(市ノ後)の3人が6月14日来庁し、住永町長、古閑森副町長、森永教育長に父の日のプレゼントとして牛乳を贈りました。

3人を代表して村上さんが「この活動を続けてもつと牛乳に親しんでもらいたい。暑い日が続きますが、牛乳を飲んで毎日を元気に頑張ってもらいたい」とあいさつ。それぞれ専用の保冷ケースに入っ



牛乳を贈る松野さん(左)、村上さん(中央)、高森さん(右)